

目指すべき姿

「オール“とち”ぎ」で「“まる”ごと」取り組む  
**『とちまる地域共生社会の実現』**

～ 住民が互いに支え合いながら、安心して暮らせるまちづくり ～

地域共生社会とは・・・

子どもから大人、高齢者まで、年齢や障害の有無などに関わらず、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、全ての住民一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる『誰一人取り残さない社会』を目指すものです。

この「地域共生社会の実現」を目指して、現状を踏まえながら、次の3つの施策に「オール“とち”ぎ」で「“まる”ごと」取り組みます。

- 施策1 安心して暮らせる地域づくり
- 施策2 地域を担うひとづくり
- 施策3 地域福祉の基盤づくり

なお、各種取組に当たっては、主に下の図のように、「地域共生社会」の「理念の浸透」、地域や市町の相談窓口における「キーとなる人材の育成」、地域づくりの主体となる「市町の後押し」の考え方に立って施策を展開します。

県の取組に当たっての考え方

